



IMPORT-EXPORTCSV

Microsoft Excel VBAを活用
した効率化

プロジェクト概要

- Excel上でCSVファイルを簡単にインポート・エクスポートするVBAマクロを開発。
- ファイル選択ダイアログやデータ変換の自動化により、手作業の削減を実現。

機能:

1. CSVファイルのインポート機能（`ImportCSV`）
2. データのエクスポート機能（`ExportCSV`）

CSVインポート機能

コード名: `ImportCSV`

機能の詳細:

1. ****ユーザーフレンドリーなファイル選択:****
 - ダイアログボックスを表示し、CSVファイルを選択。
2. ****データのインポート:****
 - 指定したシート（`improt`）にCSVファイルの内容を読み込み。
 - データをクリアして新しいデータをインポート。
3. ****自動パース:****
 - カンマ区切り（`Comma Delimited`）でデータを自動解析。

CSVエクスポート機能

コード名: `ExportCSV`

機能の詳細:

1. ****エクスポート対象:****

- シート（`improt`）の内容をエクスポート。

2. ****保存形式:****

- デフォルトで`Shift_JIS`形式のCSVファイルとして保存。
- 保存先はユーザーの「ダウンロード」フォルダに自動設定。

3. ****データのクリア:****

- エクスポート後、シートの内容を自動消去。

4. ****完了通知:****

- メッセージボックスで保存完了と保存先を通知。

実行デモ



手順:

1. **CSVインポート:**

- ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログでCSVファイルを指定。
- データがシートに反映される。

2. **CSVエクスポート:**

- ボタンをクリックし、シート内容が自動的にエクスポートされる。
- 保存先：ダウンロードフォルダ。

メリットと効果

導入のメリット:

- 手作業の削減による作業効率の向上。
- ユーザーフレンドリーな操作性。
- データ管理の簡素化と正確性向上。

効果:

- データインポート・エクスポートの作業時間が大幅短縮。
- エラーリスクの低減。

今後の展望

機能拡張のアイデア:

- 自動計算機能の追加。
- シート選択機能を導入し、複数シートへの対応を可能にする。

課題:

- エラー処理を強化し、不正なファイル形式や読み込みエラーに対応するメッセージを追加する。